

# アドバイザーボード，総合教育会議でのご意見を踏まえた論点の整理について

## 1 基本的な論点の整理方針

第1回目のアドバイザーボードや総合教育会議でのご意見を踏まえ、報告書 P69 に記載の提言内容について次項2の具体の検討項目の通り整理し、今後の対応案の作成に反映するとともに、アドバイザーボードにおける検討事項として位置付けるもの。

今後の検討に当たっては、報告書の P65 から P66 に記載の「4.3 当該生徒の自殺についての当委員会の結論」での指摘を十分に踏まえた上で行うものとする。

また、特に、先の総合教育会議等において、市長や教育委員から部活動の在り方に対して出された意見について十分に精査の上、今後の検討を進めるもの。

## 2 具体の検討項目

### (1) 部活動の改善について（活動時間の量的緩和，休暇の確保等）

部活動の改善については、最重点課題として位置づけ、文化庁等のガイドラインを基本とし，高等学校における心身の発達や多様な教育，部活動が学校教育に果たす役割等に留意しつつ整理を行う。主な検討内容は次の通り

ア 部活動の活動方針の見直し（文化庁等のガイドラインを踏まえた具体的な基準の明記）

- ・ 1日の活動時間（平日，学校の休業日）
- ・ 休養日（学期中の平日・土日，長期休業中）
- ・ 過労死ラインとの比較等に関する具体的な基準（時間数，日数）

イ 活動方針見直しに関する実効性の確保

- ・ 部活動全般のスケジュール管理（確認方法，遵守させるための取組み）
- ・ 登下校時間の確認
- ・ 自主練の取り扱い

ウ 学習との両立

- ・定期試験前の練習
- ・公欠日数の削減
- ・進路選択に関する生徒の自主性の尊重

(2) 生徒等の相談支援について（相談体制，相談環境の整備等）

ア 生徒の健康状態等の把握

- ・把握の方法
- ・頻度
- ・把握した情報の活用

イ 相談し易い体制の整備

- ・SC・SSW配置の拡充
- ・非対面での相談方法の確保
- ・相談室の確保と利便性（物理的な利用環境）向上

ウ 相談から支援へのプロトコル

- ・相談（覚知）内容の共有（誰とどのように共有するか）
- ・具体的な支援に繋げる流れ
- ・ハイリスク者の支援（体制，内容（誰がどのように））
- ・保護者との連携

(3) 意識改革（部活動に対する持続的な検証）

ア 部活動の位置づけの見直し

- ・部活動に過度に異存した学校経営の見直し
- ・学校教育としての部活動のあり方の再検討
- ・生徒の自主的・自発的な参加の確保
- ・競技と教育の両面からの整理

イ 関係者への研修

- ・教育委員会，教員，保護者，生徒等，部活動を取り巻く様々な主体に対する研修の実施

ウ 対外的な説明

- ・入学案内，学校説明会等での説明

(4) その他

上記（1）から（3）以外で，報告書の提言を踏まえた対応として必要と思われること

### 3 アドバイザリーボードでの協議について

- ・整理した論点（2の（1），（2），（3））の項目（ア，イ，ウ・・・）ごとに検討する
- ・アドバイザリーボードは，あくまでも検証委員会が示した報告書の提言内容について具体の対応を検討する場として，専門的な見地から点検し，より適切な対応策を提示するためのものとする。従って報告書の内容そのものを検証したり評価する場ではない（報告書は既に市（教育委員会）として受領したものである。）。
- ・検討過程において，各項目や論点の区分を跨ぐ内容に関する協議が必要になることが想定されるが，それ自体は妨げない。ただし，議論が議題以外の項目に移行しないよう注意する。
- ・項目ごとに示した主な検討事項を中心に，可能な限り客観的な理由に基づき多様な視点で具体的な議論を行う。

### 4 今後のスケジュール（段取り）

1の（1）のア，文化庁等のガイドラインを踏まえた部活動の活動方針の見直しについて優先的に作業を行う。（令和4年第2回定例会の答弁においては，具体の数字等を示さない。）

日程	実施項目
R4.6.24（金）	教委職員課，指導課と市立柏高校が中心となって部活動の活動方針（見直し案）を作成
R4.6.30（木）	令和4年第6回教育委員会議定例会において説明（勉強会）
R4.7.7（木）	アドバイザリーボード委員に部活動の活動方針（見直し案）を送付
R4.7.14（木）	アドバイザリーボード（第2回）において協議
R4.7.28（木）	令和4年第7回教育委員会議定例会において説明（勉強会）
R4.8.18（木）	アドバイザリーボード（第3回）において協議
R4.8.25（木）	令和4年第8回教育委員会議定例会において説明（勉強会）
R4.8.29（月）	総合教育会議（第2回）

※協議の進捗に応じて，その他の論点についても協議を進めていく